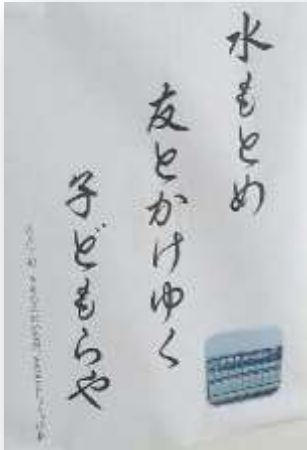




この夏～秋の熱中症予防について



1階廊下に掲示中

あじさいの季節となりました。じめじめした蒸し暑い日が続く中、雨の晴れ間の休み時間には、プールに向かう子ども達の弾むようなコロコロした声が廊下に響いています。中には早く行きたくて・・・つい、駆けてしまう子もみられます。(気持ちはわかりますがダメです。)

さて、昨年度は空梅雨で、しかも記録的な猛暑が続きました。そこで「熱中症予防」に対して、本校の全教職員で共通理解を行い、学校生活の中で、熱中症を起こさないように注意して、日々指導してきました。

今年はどんな暑さになるか予想ができませんが、急に暑くなってもすぐに的確な学校の組織的対応ができるよう気を引き締めて、万全の準備を行っていますので、詳しくお知らせいたします。

1 職員室掲示板に明示 (毎朝測る、活動前に測る)

- 今日の「熱中症予想」を毎朝確認し(専用サイト)表示する。
- 活動場所の熱中症指数を活動前に測定し、無理な運動を行わない。

2 水筒持参可の期間を広げる (5月末から10月末まで)

3 20分に1回、水分補給 (熱中症指数が「警戒」レベル以上)

- 体育授業中、水分補給と健康チェックを20分ごとに確実に行う。

4 運動場出入り口にミストシャワーの設置 (白山市全体で)

- 外で活動中のクールダウンスペース。

5 家庭との連携

- 生活リズム管理と水分、塩分の十分な朝食を。(ご飯、みそ汁の摂取等)

6 授業中の温度管理

- 教室の気温が28度以上にならないようにエアコンを活用する。



職員室内ボード



に一まるサイクル運動指導スタンダード



デジタル熱中症指標計

運動会の安全指導・安全対策について

運動会は、明治時代からすでに100年以上続けられている日本の学校の定番の行事です。戦前・戦後と運動会のプログラムや内容や運営の工夫は少しずつ変化していますが、基本は大きく変わっていません。

30年以上運動会指導に熱く関わってきた私は、子ども達に次のような思いを伝えてきました。

「勝ち負けにこだわらず、全力をつくすこと・競って高め合うこと・協力すること・応援をしてつながることが大事だ。その素晴らしさを実感できるように前向きにがんばれ！」

そして子ども達は、運動会という行事を作り上げる過程で、力いっぱいがんばる体験、つながり合う体験、正々堂々と競い合う体験をたくさん積み重ねて、どの子も大きく成長していたことを思い出します。

このような教育的意義の高い運動会ですが、様々な動きに挑戦したり、外で活動する時間が長かったり、ケガや熱中症の危険が高くなることも事実です。健康・安全が確保されてこそ、運動会での人間的成長の意義が活きますので、学校では、安全指導・熱中症予防についてあらゆる面から検討を重ね、運動会を計画しています。

さて、6月に今年度の運動会の計画の最終検討をしました。実は昨年度から様々な視点から検討を重ねています。いよいよ最終段階です。これまでの運動会関係の検討結果の概略をお知らせいたしますので、どうかご理解頂きますようお願い申し上げます。

白山市の小中学校全体で
検討を行いました。

秋 ①H30年10月～12月頃（実施時期の検討）

- 1学期(5月～6月上旬)に開催できないか。
(社会体育大会と重なるので調整が困難。暑さに慣れていない時期ということが心配。)
- 9月を避けて涼しい10月に開催できないか。
(白山市は、9月に中→小→幼保の順で行っており、また、秋は地域行事やスポーツ団体の大会が多く10月では調整が困難。)

<確認した白山市の小中学校の実施日の基本線>

2019年度は、原則として、中学校が9月14日(土)に、小学校は9月21日(土)に実施する。

今後、敬老の日の前の土曜日を中学校、敬老の日の後の土曜日を小学校の実施日とするが、地域等の実情に応じてやむを得ず変更することもある。(スポーツ・地域等の関係諸団体にも連絡済み。)

冬 ②H31年1月～3月（プログラム内容、当日開始終了時刻の検討。）

子ども達が日光に当たる時間を減らすことが、熱中症予防の最大の改善点である。

北陽小での検
討結果です。

- 開会式は、昨年同様8時半として涼しいうちに開始。(12時に終了するようコンパクトにする。)
- 全員の参加種目は、「個走と団体競技と団体演技の3つ」のまま変更無し。(1人3つは必要。)
- バラエティ走(障害物あり)は「準備、競技、片付け」に時間がかかるので、全学年徒競走として実施。
- 子ども達が燃え上がる「応援合戦」「リレー」は実施するが、時間短縮につながるように運営を工夫。
(種目については、バラエティ走が「かけっこ」に変わっただけです。)
- 猛暑日の場合は、10時頃に教室に入り冷房にあたるクールダウンタイムを設定する。

春 ③R元年5月～6月（順延や予備日、昼食、職員役割分担、全校での安全指導の検討。）

- 仕事をしている保護者は、急に休みを取れないという事情も考慮し、土→日→祝の順延とする。
- 開始時刻を早め、午前中に終了予定なので、お弁当を作る保護者のことを考えるとお弁当無しがよい。また、昨年度のように雨天順延が続く場合、何度もお弁当の用意をする負担が軽減できる。近隣の学校でも、午前中開催でお弁当無しのところがある。
- スタンプの安全指導や運動会練習中のケガ・熱中症防止の指導に関する校内研修会を8月に開催。